

# HEART NEWS

2022年5月1日発行

Vol. 54

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



新しい年度に入り最初のハートニュースの発行となりました。新型コロナウイルス感染症も減少傾向ですが、第7波の到来の可能性もありまだまだ予断を許さない状況の中、地域医療機関の先生方もその対応に苦慮されていることとお察しします。2年ぶりの集合写真を撮影を行いました。

新年度に入り、循環器内科、心臓血管外科ともに新しいレジデント、専攻医も加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりました。ハートラインを受け入れながら、COVID-19症例を見逃さない市総合を目指して、これまで同様、地域医療機関との連携強化に努めたいと思っております。今年度もご支援よろしく申し上げます。



大阪市立総合医療センター  
循環器センター長  
循環器内科部長 成子 隆彦

# 循環器内科のご紹介

循環器内科は、今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

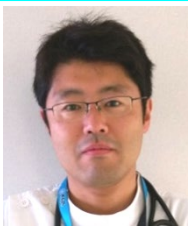
1. 弁膜症に対するカテーテル治療：大動脈弁狭窄症に対し、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を2016年4月から開始し、2022年3月で309例に到達しました。また僧帽弁閉鎖不全症に対しての経皮的僧帽弁クリップ術(Mitral Clip)を2022年7月開始し、12例を行っています。本年度は、近年増加している透析患者の大動脈弁狭窄症に対するTAVI治療の開始を予定しています。
2. FFR-CTの導入：FFR-CTとは、これまで心筋虚血の診断のために心臓カテーテル検査で行っていた冠血流予備量比(FFR: Fractional Flow Reserve)を事前に施行した冠動脈CTのデータを基に数値流体力学解析を行うことにより心臓カテーテル検査を施行せず、CTでFFR値を算出し診断ができる検査であり、本年度導入に向けて準備を行っていききたいと思います。
3. 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後、疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし糖尿病内科、腎臓高血圧内科、総合診療科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携し下肢救済センターの設置に向けて準備を行っていききたいと思います。
4. 不整脈治療：不整脈治療は、2021年から持続性心房細動にも冷凍凝固アブレーションの適応が広がり、当院でも昨年後半から計17例を施行しております。デバイス治療に関しては心室ペーシングを必要とする例の10-20%で心機能が低下する(ペーシング誘発性心筋症)ことが知られています。このペーシング誘発性心筋症の発生率軽減を目指して、当院では、より生理的なHis束ペーシングや左脚ペーシングを積極的に行っております。2020年9月から左心耳閉鎖システム(WATCHMAN)を用いたカテーテル治療を開始しています。
6. 心不全パスの充実：超高齢化に伴い、近年増加している心不全患者の再入院を減らすことを目的として、定期的開催しています「大阪心不全地域医療連携の会」を通じて、心不全患者の管理を、医療機関から地域全体切れ目のない治療体制を本年度も発展させて行きたいと思えます。



副部長  
阿部 幸雄



副部長  
松村 嘉起



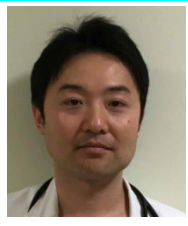
副部長  
松本 亮



副部長  
占野 賢司



医長  
仲川 将志



医長  
齋藤 聡男



医長  
林 雄介



レジデント  
田村 尚大



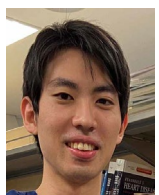
レジデント  
野村 菜々香



レジデント  
加島 裕美



専攻医  
吉井 大智



専攻医  
齋藤 亘



専攻医  
中辻 孝太



専攻医  
岡田 卓也



専攻医  
松田 匡雄

## 循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
			田村(ペースメーカー)		
午後	阿部	松村			成子
	占野(ペースメーカー)				林

### 地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)	仲川(肥大型心筋症)	松本(TAVI)

# 心臓血管外科のご紹介

2020年から続くコロナパンデミックの中、大阪市の病院としてコロナ診療を行いながらも、先進的な医療の推進を続けています。

1) 低侵襲心臓手術 (Minimally Invasive Cardiac Surgery: MICS **ミックス**) を行っています。小切開から内視鏡下に弁膜症手術や冠動脈バイパス術を行います。

2) **ロボット**支援下心臓手術を行います。

3) 大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療 (**TAVI**)

4) **ステントグラフト**による大動脈瘤や大動脈解離のカテーテル治療

5) **下肢静脈瘤**に対する**レーザー治療**を行います。また足の皮膚潰瘍 (下肢虚血・**静脈鬱滞性皮膚潰瘍**など) に対する治療や、**リンパ浮腫**や動静脈奇形による下肢の腫脹に対する治療を行います。

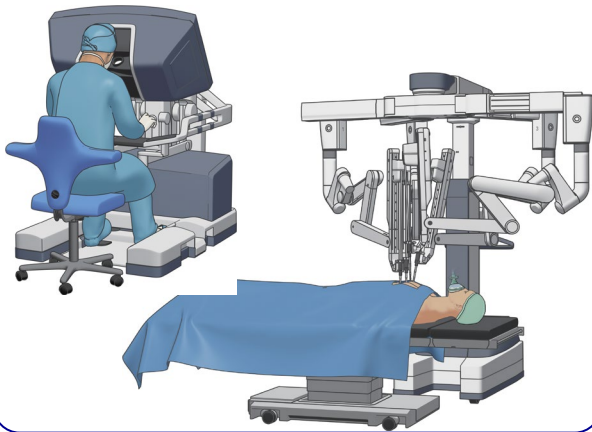
6) **内臓動脈瘤**に対するコイル塞栓術など、**血管内治療**。

コロナ診療のため救急受け入れに制限がありますが、【大動脈センター】では、可能な限り急性大動脈解離や大動脈瘤破裂に対する緊急手術の受け入れを行いたいと思います。

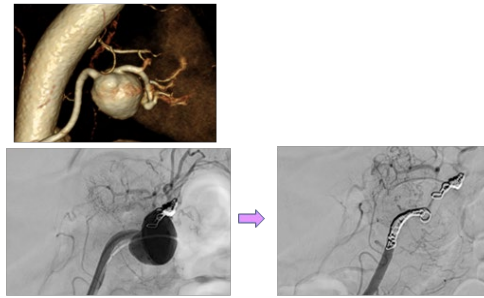


部長 村上貴志

## ロボット支援下心臓手術



## 内臓動脈瘤に対するコイル塞栓術



## 静脈うっ滞性皮膚潰瘍



副部長  
青山 孝信



副部長  
阪口 正則



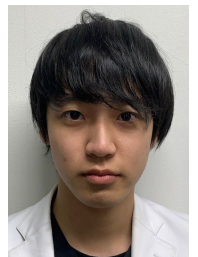
医長  
尾藤 康行



レジデント  
岸本 憲明



レジデント  
角谷 明洋



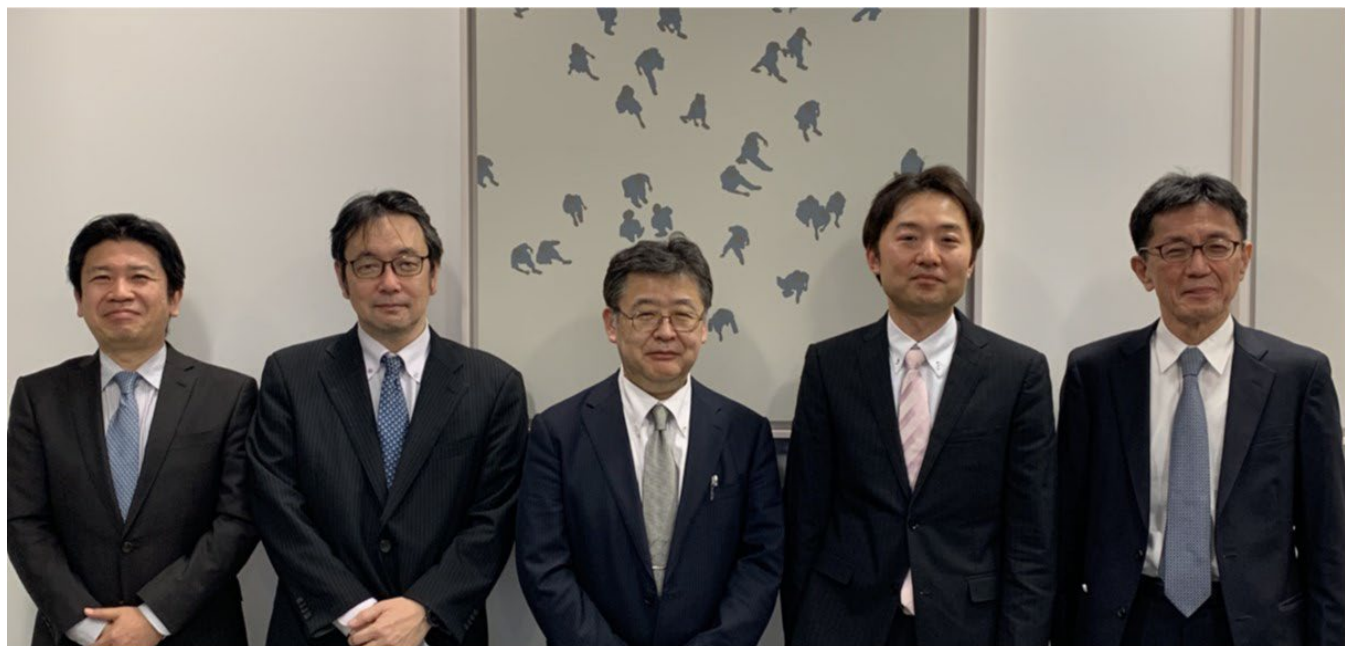
専攻医  
南郷谷 亮

## 心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山 / 岸本	村上	阪口	【下肢静脈瘤外来】 青山	尾藤
午後	青山 / 岸本	【ロボット手術外来】 村上	阪口		尾藤

# 今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。上段は4月20日に開催した心不全・弁膜症治療研究会の際の写真です。齋藤聡男医師が心不全の薬物治療や僧帽弁逆流のカテーテル的治療について講演いたしました。座長の労をお取りいただいた北野病院・猪子森明先生，松下記念病院・川崎達也先生，そしてご視聴いただきました先生方には心から御礼申し上げます。下段は久しぶりにほぼ全面的にオンライン（米子市，4月8日-10日）で開催された第33回日本心エコー学会学術集会の際の写真です。阿部，野村，吉井，齋藤巨，岡田で参加してまいりました。久しぶりの遠出で疲れましたが，やはり学会はオンラインのほうがよいと実感した3日間でした。



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、  
06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。